

港湾事業特別会計

問い合わせ：留萌市地域振興部経済港湾課港湾振興係
(Tel 0164-42-1840)

総括

留萌港は、旭川市を中心とした上川・留萌・空知地域の産業・生活を支える物流拠点として重要港湾に指定されています。留萌港では、一度に大量の貨物を輸送することができる大量低コスト輸送に対応すべく、三泊地区にー12m岸壁を整備しており、現在では3万トン級の大型船舶が入港しています。

また、大規模地震に備えて耐震強化岸壁として整備していることから、震災時における救援物資の受け入れが可能であり、防災拠点としても大きな役割を担っています。

留萌港における主な輸出入取扱い貨物は、石炭、石油製品、アスファルト及び原木で、平成28年の輸出入貨物は53万トンとなり、前年と比較して1万トン（1.9%）の減少となりました。

輸入については石油製品が2万トン（3.8%）減少しましたが、石炭の輸入が2万トン（3.8%）増加となり全体の増減はありませんでした。輸出については中国及び韓国への原木（道産材）の輸出が0.8万トン（42.1%）の減少となっています。

収入

(単位：千円、%)

①港湾使用料は港湾施設用地使用料の増により、前年度を上回りました。

②繰入金は、収入不足のため一般会計より補てんしているものです。

③市債（借金）は、資本費の平準化のために発行しています。

予算科目	平成28年度				平成27年度		平成27年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C (A-B)	C/B
① 港湾使用料	60,618	59,971	33.0	△ 647	59,067	32.7	904	1.5
② 繰入金	77,135	72,581	39.9	△ 4,554	75,625	41.8	△ 3,044	△ 4.0
③ 市債	47,000	47,000	25.8	0	46,200	25.5	800	1.7
④ 諸収入	0	2,369	1.3	2,369	0	0.0	2,369	皆増
合計	184,753	181,921	100.0	△ 2,832	180,892	100.0	1,029	0.6

支出

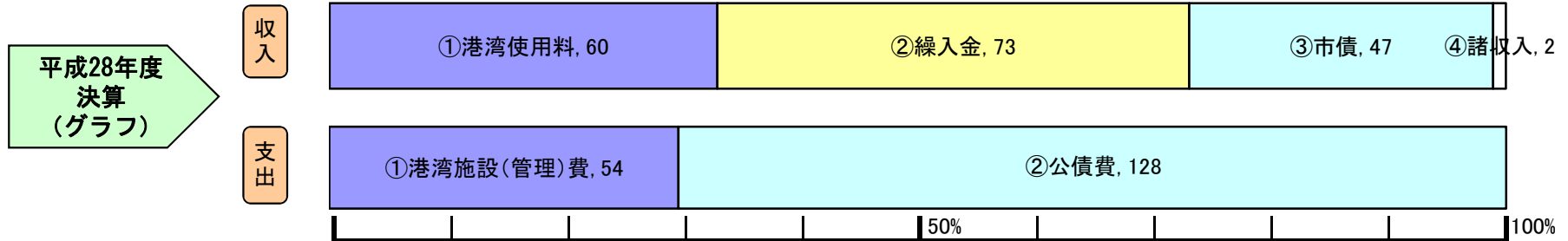
(単位：千円、%)

①港湾施設（管理）費は、人件費が対象職員の変更により減少したほか、緊急を要する施設の修繕が少なかったことから、前年度を下回りました。

②公債費は、過去に借りた市債（借金）の返済分です。

予算科目	平成28年度				平成27年度		平成27年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C (A-B)	C/B
① 港湾施設（管理）費	55,679	53,858	29.6	△ 1,821	54,396	30.1	△ 538	△ 1.0
② 公債費	128,074	128,063	70.4	△ 11	126,496	69.9	1,567	1.2
③ 予備費	1,000	0	0.0	△ 1,000	0	0.0	0	0.0
合計	184,753	181,921	100.0	△ 2,832	180,892	100.0	1,029	0.6

(単位: 百万円)



平成29年度執行状況 (9月30日現在)

収入

港湾使用料は、港湾施設（土地）の使用料、船舶給水使用料、引船使用料などで、収入率は約72.3%となっています。
繰入金と市債は、年度末に収納するため、9月の時点での収入はありません。

(単位: 千円、%)

予算科目	平成29年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
① 港湾使用料	57,475	41,550	72.3
② 繰入金	88,237	0	0.0
③ 市債	48,000	0	0.0
④ 諸収入	9,701	0	0.0
合計	203,413	41,550	20.4

支出

港湾施設（管理）費は、人件費や委託料、燃料費、光熱水費の支払いなどに執行されています。
公債費は年2回の市債の元利償還があり、9月には1回目の償還を執行しています。

(単位: 千円、%)

予算科目	平成29年度支出状況		
	予算額	執行済額	執行率
① 港湾施設(管理)費	71,223	58,031	81.5
② 公債費	131,190	64,971	49.5
③ 予備費	1,000	0	0.0
合計	203,413	123,002	60.5

※9月末において、収入済額に対して執行済額が上回っていますが、繰入金などの収入が年度末の収入となるためであり、不足分については会計間や一時借入金によって補っています。